

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第 5 巻第 4 号

第 4 週(1月 24日 ~ 1月 30日)

発行年月日:平成17年(2005年) 2月 4日

発行 :滋賀県立衛生環境センター  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (4週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (4週)	全国 (4週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	1	38	9	576
	腸チフス	0	0	5	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	40	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	<sup>(*)2</sup> 1	1	34
	オウム病	0	0	5	1	39
	デング熱	0	0	2	2	45
	マラリア	0	0	4	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	0	49	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	19	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	6	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	0	63	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	2	2	85
	梅毒	0	0	27	4	516
	破傷風	0	0	3	2	100
急性脳炎	0	0	<sup>(*)2</sup> 4	1	160	

\*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:平成17年第2週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

### 2)定点把握の対象となる5類感染症

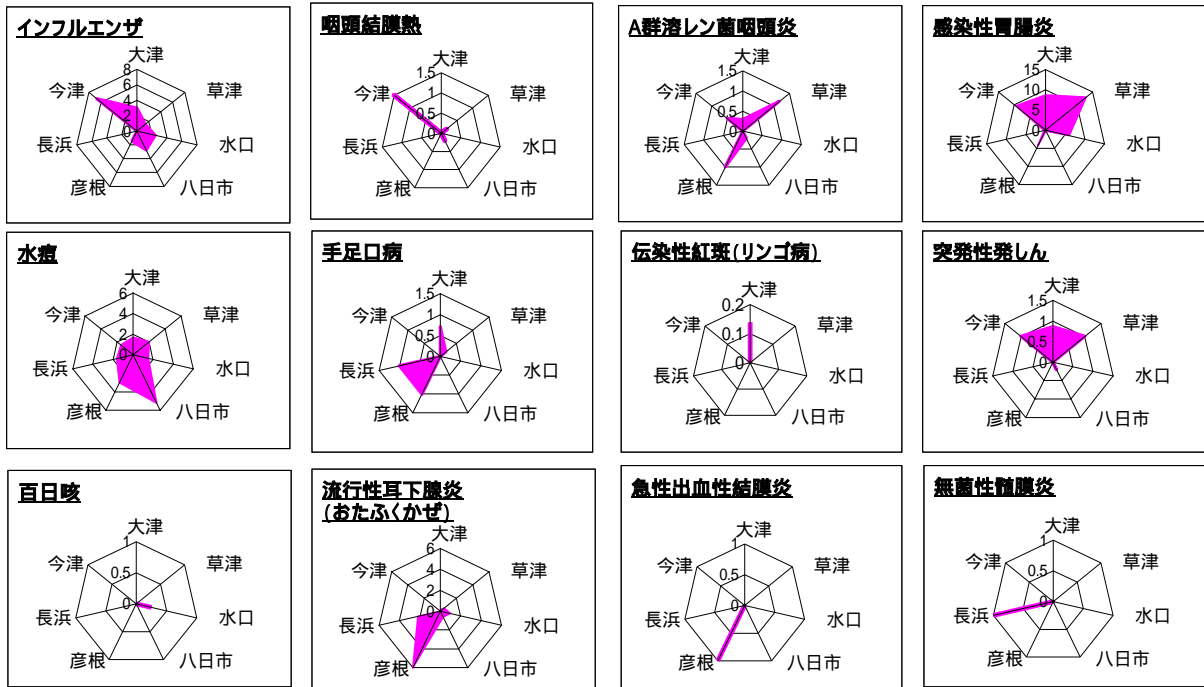
(1)疾病別・週別発生状況(平成16年第52~平成17年4週、H16.12.20~H17.1.30)

疾患名	定点当たり患者数 ( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	52週		53週		1週		2週		3週		4週	
	(12/20~)	(12/27~)	(1/3~)	(1/10~)	(1/17~)	(1/24~)	53	1	2	3	4	
インフルエンザ	0.25	0.06	0.18	0.25	0.76	2.27						
RSウイルス感染症	0	0.09	0	0.03	0	0						
咽頭結膜熱	0	0	0.06	0	0.03	0.15						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.36	0.18	0.27	0.33	0.48	0.45						
感染性胃腸炎	7.39	3.70	4.76	6.24	6.21	6.12						
水痘	2.79	2.39	2.52	2.00	1.79	2.39						
手足口病	0.67	0.48	0.48	0.21	0.27	0.45						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0.03	0.03	0.03						
突発性発しん	0.45	0.27	0.36	0.45	0.58	0.45						
百日咳	0	0	0	0	0	0.03						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.06	0	0	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.24	0.61	1.64	1.24	0.85	1.39						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0.14						
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0	0.14						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.43	0.29	0.14	0	0.43	0.14						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0.43	0.29	0.43	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第4週、1/24～1/30)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	2.27	3.00	1.40	2.43	2.75	1.43	0	6.67
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.15	0	0.17	0	0.20	0	0	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45	0.29	1.17	0	0.20	1.00	0	0.50
感染性胃腸炎	6.12	8.71	13.00	6.00	0.20	4.25	0.40	9.50
水痘	2.39	1.71	2.00	1.50	5.20	3.00	1.60	1.50
手足口病	0.45	0.71	0.17	0	0	1.00	1.00	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.45	0.86	1.00	0	0.20	0	0	1.00
百日咳	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.39	0.14	0.50	1.00	0.60	6.00	2.20	0
急性出血性結膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。インフルエンザの県内における発生は増加傾向となっており、咽頭結膜熱については今津でやや多く発生しています。感染性胃腸炎は大津および草津で先週に引き続き多い状態となっていますが、彦根および今津では先週より急増しかなり多くなっています。

また、百日咳は水口から、急性出血性結膜炎は彦根から報告されています。流行性角結膜炎についても長浜から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### インフルエンザの発生は増加 水痘および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生に地域的な偏り

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(1月17日～1月23日)の報告数より急増し、インフルエンザ、水痘および流行性耳下腺炎で特に多くなっています。感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎等については横ばいとなっています。また、百日咳および急性出血性結膜炎は少数ですが報告されています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

**インフルエンザ**については、先週の定点当たり患者数0.76より急増し2.27となっています。特に今津保健所管内の定点当たり患者数は2.27と多くなっています。今後も引き続き感染予防に対する注意が必要です。

#### インフルエンザに対する一般的な注意

1. 外出時には、マスクを使用する。
2. 帰宅時には手洗いとうがいを心がける。
3. 睡眠を十分にとり、栄養に気を配る。
4. 室内を適度な湿度に保つ。
5. 人混みに出かけることをなるべく避ける。
6. 早めに医療機関を受診する(受診する際には、マスクを着用する)。

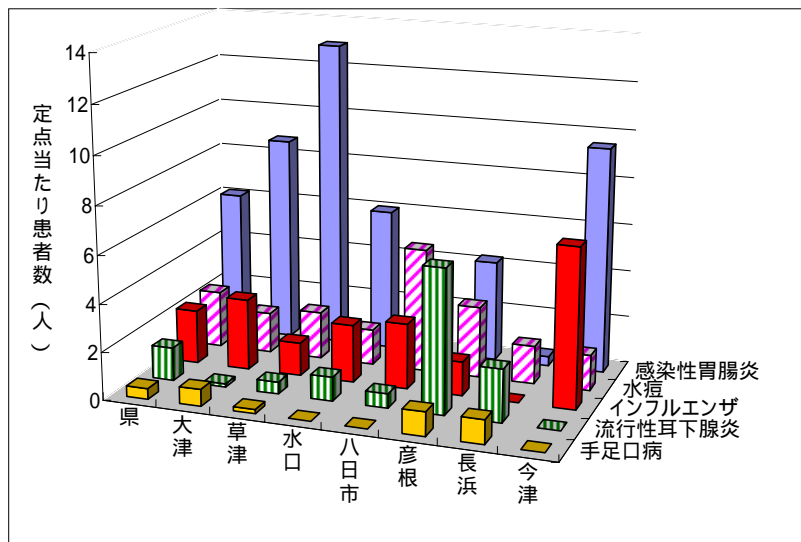
**感染性胃腸炎**については、先週の定点当たり患者数6.21よりやや減少していますがほぼ横ばい状態で6.12となっています。

また、平成16年第51週(12/13～12/19)以降、彦根、八日市、大津保健所管内等においてノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が多発しているため、感染予防に十分注意するとともに今後の発生動向に注意する必要があります。

**水痘**については、先週の定点当たり患者数1.79よりかなり増加し2.39となっています。特に八日市保健所管内で急増し定点当たり患者数は5.20と多くなっており、大津、草津および彦根保健所管内においても多くなっています。

**流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)**については、先週の定点当たり患者数0.85より増加し1.39となっており、特に彦根保健所管内で6.00と急増しています。

#### 上位5疾患の保健所管内別発生状況(平成17年第4週、H17.1.24～H17.1.30)



#### インフルエンザの年齢別発生状況

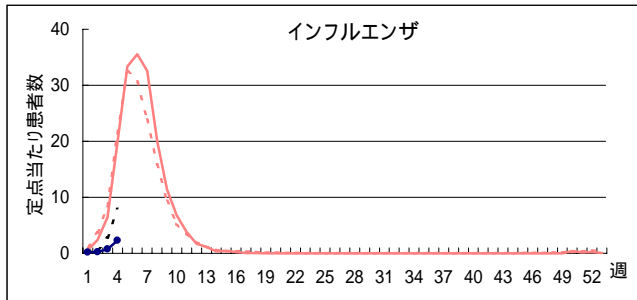
80歳以上	3.4 %
70～79歳	0.9 %
60～69歳	1.7 %
50～59歳	7.8 %
40～49歳	9.5 %
30～39歳	16.4 %
20～29歳	1.7 %
15～19歳	5.2 %
10～14歳	1.7 %
9歳	1.7 %
8歳	6.9 %
7歳	10.3 %
6歳	11.2 %
5歳	10.3 %
4歳	4.9 %
3歳	3.4 %
2歳	2.6 %
1歳	0.9 %
12ヶ月未満	
6ヶ月未満	

第4週における定点当たり患者数上位5疾患(感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、流行性耳下腺炎、手足口病)の保健所管内別発生状況についてみると、感染性胃腸炎は大津、草津および今津で多くなっており、水痘は八日市でかなり多くなっています。

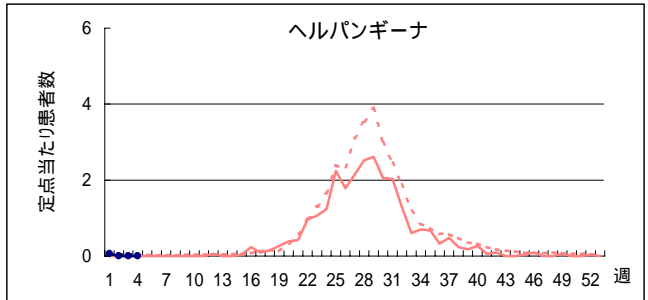
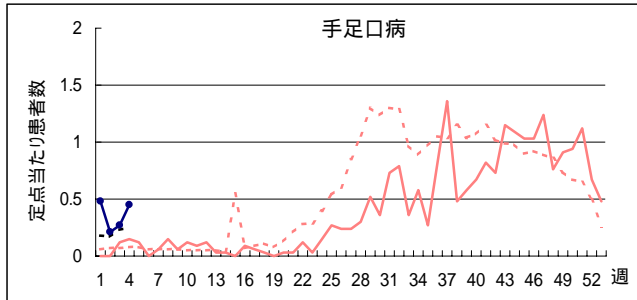
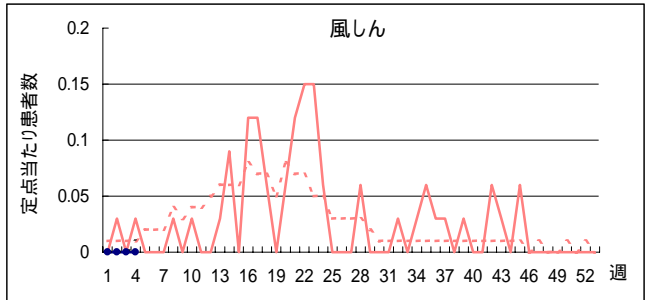
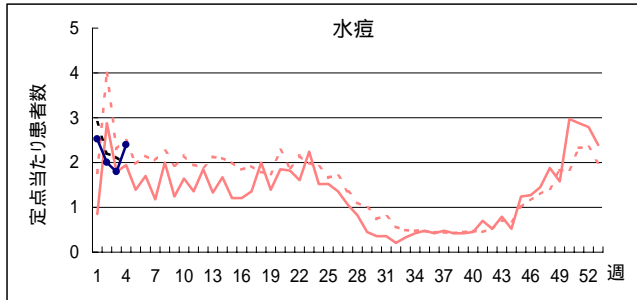
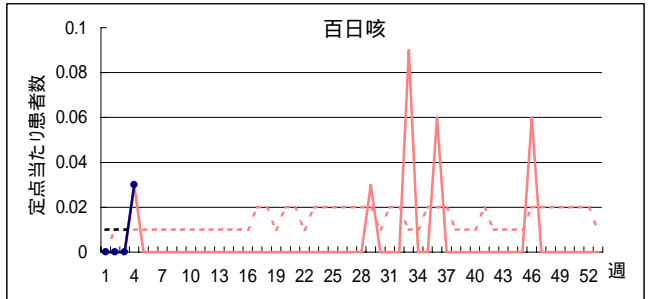
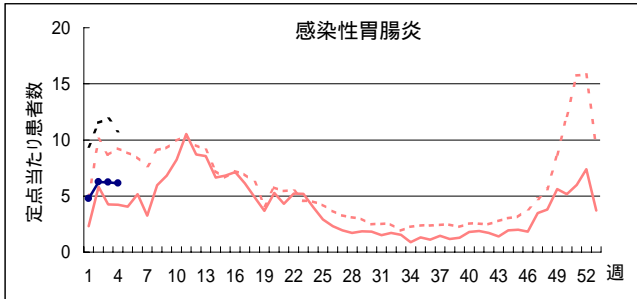
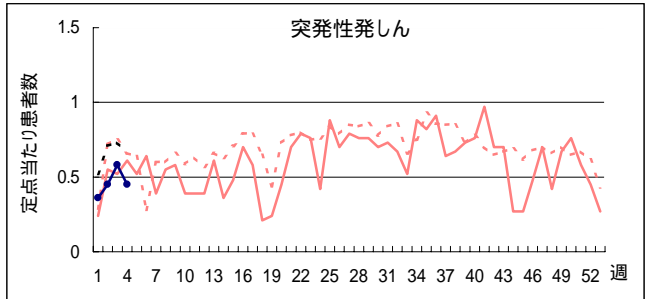
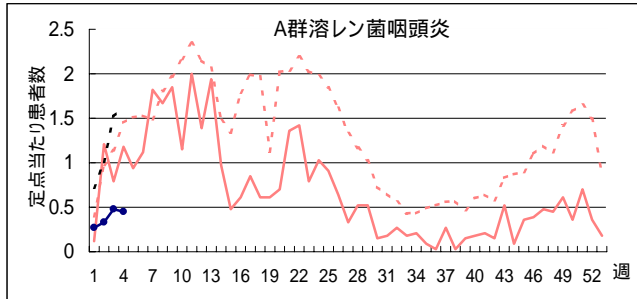
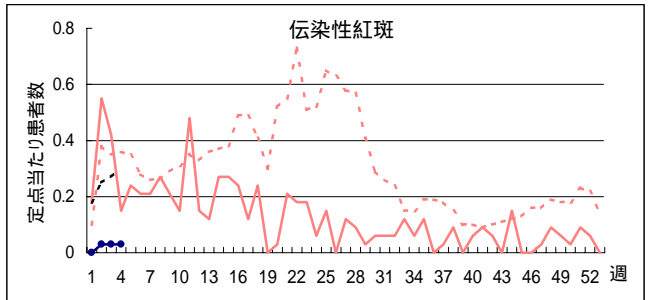
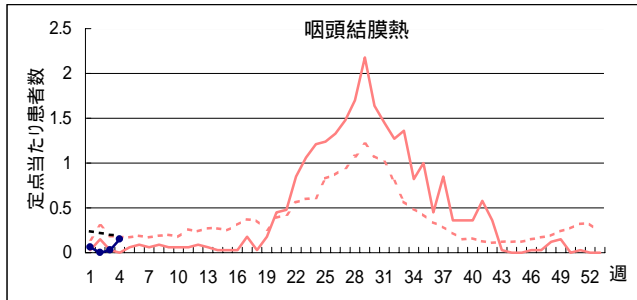
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は彦根で非常に多く発生しており、手足口病は大津、彦根および長浜でやや多く発生しています。

また、インフルエンザの年齢別発生状況についてみると4歳、5歳、6歳および20～29歳において比較的多く発生しています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第4週、H17.1.3～H17.1.30)



H16 { 滋賀 ————  
       全国 - - - - -  
 H17 { 滋賀 ●—●—  
       全国 ······



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第3週、H17.1.3～H17.1.30)

H16 { 滋賀 ———— 全国 ..... }  
 H17 { 滋賀 ●——● 全国 ..... }

